

全国学力・学習状況調査 蒲郡市の児童生徒の状況

1 調査実施日 令和5年4月18日(火)

2 教科の状況(全国の平均正答率と比較して)

☆小学校6年生の状況

教科	分 析
国語	<p>下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識および技能の「(2)情報の扱い方に関する事項」の区分では、全国平均に近い値であったが、すべての区分の平均は全国平均を下回った。 ・思考力、判断力、表現力等の「A 話すこと・聞くこと」の領域について、「インタビューが質問した理由を選択肢から適切なものを選ぶ問題」が全国平均を下回った。 ・「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる力」を身に付けるためには、対話的活動を充実させるとともに、インタビュー活動をする場面で、「目的をもって特定の相手に質問し、必要な情報を聞き出すこと」「聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問すること」を指導する必要がある。
算数	<p>やや下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての領域で、昨年度より平均が大きく改善し、特に、「A 数と計算」の領域で、全国平均を上回った。 ・「B 図形」の領域に関する問題では、4問中3問で全国平均を下回った。また、「百分率で表された割合を理解しているかを問う問題」でも、全国平均を下回る結果となった。 ・割合を用いて問題を解決するためには、「問題場面の数量の関係に着目し、割合の関係や、伴って変わる二つの数量の関係について考察して、数学的に処理する力」が大切である。その力を付けるために、「日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解することや伴って変わる二つの数量の間に比例の関係があることを見いだし、その比例の関係を用いて、未知の数量を求めることができるようにすること」が必要である。

☆中学校3年生の状況

教科	分 析
国語	<p>やや下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考力、判断力、表現力等の「B 書くこと」の領域においてのみ全国平均をわずかに上回った。知識および技能においては、「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2) 情報の扱い方に関する事項」「(3) 我が国の言語文化に関する事項」のすべての区分で、全国平均を下回った。 ・特に、「(2) 情報の扱い方に関する事項」において、「インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する問題」での正答率が全国平均を大きく下回った。 ・今後、「意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する学習」に取り組むとともに、「話し手や書き手の意見について、その理由や根拠を捉える学習」「限られた紙面や時間の中では、理由や根拠が十分に示されていないこと」を指導する必要がある。
数学	<p>やや上回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B 図形」の領域では、全国平均をやや下回ったが、その他の領域で全国平均を上回った。 ・「B 図形」の領域では、「空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ問題」や「三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示す問題」での正答率が全国平均を大きく下回った。 ・今後、「空間における直線と平面の位置関係を捉え直すこと」や「基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にして、それらを確かめ証明すること」に力を入れる必要がある。
英語	<p>やや下回っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(1) 聞くこと」「(2) 読むこと」の領域においてのみ全国平均をわずかに上回ったが、「(3) 話すことーやり取り」「(4) 話すことー発表」の領域では、全国平均をわずかに下回り、「(5) 書くこと」は大きく下回ったため、全国平均をやや下回る結果となった。 ・特に「(5) 書くこと」の領域では、「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題」において、正答率が全国平均より低い結果となった。 ・今後、「疑問詞を用いた疑問文の用法を理解すること」が必要となる。そのために、「必要となる疑問詞が異なる相手を複数設定し、それぞれロールプレイで表現を使い分ける活動」を行う必要がある。

3 学習・生活習慣等の状況

全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

○小学校6年生の状況

<全国と比較してよい傾向がみられるもの>

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- (3) 友達関係に満足している。
- (4) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- (5) 昼休みや放課後、学校が休みの日に本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）に行く。
- (6) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- (7) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている。
- (8) 算数の勉強は好きだと思っている。
- (9) 英語の勉強は好きだと思っている。
- (10) 英語の勉強は大切だと思っている。

<全国と比較して気になる傾向がみられるもの>

- (1) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている子が少ない。
- (2) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から日曜日）、勉強（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）をする時間が少ない。
- (3) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている子が少ない。
- (4) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる子が少ない。
- (5) 国語の勉強が好きだと思っている子が少ない。

○中学校3年生の状況

<全国と比較してよい傾向がみられるもの>

- (1) 朝食を毎日食べている。
- (2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っている。
- (3) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思っている。
- (4) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- (5) 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている（インターネットを通じて教わっている場合も含む）。
- (6) 新聞を読んでいる。
- (7) 学校の部活動に参加している。
- (8) 今住んでいる地域の行事に参加している。
- (9) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている。

- (10) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っている。
- (11) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。
- (12) 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- (13) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- (14) 数学の勉強は好きだと思っている。
- (15) これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあったと思っている。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)

<全国と比較して気になる傾向がみられるもの>

- (1) 将来の夢や目標を持っている子が少ない。
- (2) 家で自分で計画を立てて勉強をしているのが少ない(学校の授業の予習や復習を含む)。
- (3) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた子が少ない。
- (4) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていた子が少ない。
- (5) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた子が少ない。
- (6) 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していた子が少ない。
- (7) 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていた子が少ない。

4 調査結果をうけて

蒲郡市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持、向上させるための具体的な指導法についてまとめ、各学校に示していきます。各学校もまた、学習状況についても改善に向けた取り組みを考え、実施していきます。

5 留意点

この調査で測定できた力は、学力の一部です。各家庭では、お子さんの得意な内容、不得意な部分を知り、今後の学習に生かしていけるよう励ましをお願い致します。